

令和3年8月30日

大阪府教育長

橋本 正司 様

大阪府立高校の再編整備について
質問書 / 提言書

令和3年8月26日提出「大阪府立高校の再編整備について質問書／提言書」

追加 その1

大阪府議会議員

土井 達也

質問書 追加その1

1. 田尻町、泉南市、阪南市、岬町の中学3年生の地元3高校（りんくう翔南高校、泉鳥取高校、岬高校）の進学数をみると、安定して各校それぞれ毎年80名（合計240名前後）ほどが進学してきた。特に、泉鳥取高校は、府議会議員の選挙区内で見れば地元進学者が一定数ある。

加えて、泉鳥取高校はJR 阪和線の大阪府内で「最も」和歌山県寄りにあり、沿線では過去に和泉砂川高校が閉校となっている。

以上の条件を考慮すれば、大阪北部で「分校」とした事例を適用すべきである
と考えるが、見解を問う。

提言書 追加その1

私土井達也は、田尻町、泉南市、阪南市、岬町を選挙区とする府議会議員です。今までの私の経験上、端っこはいつも、判断する方々にしっかりと考えて頂けず、結果、多くの矛盾を抱えている、それが大阪府の端っこです。

従って、私自身が抱える矛盾を素直に率直に『質問書』で表現してみました。地元の有権者や地元市町職員等のみなさまにもお話も伺ってきたので、この『質問書』の内容は、多くのみなさんの疑問であると考えて下さい。文書によるご回答を賜りたいと存じます。

その上で、岬高校、泉鳥取高校のいずれかが募集停止（閉校）の対象となる場合に、下記事項を実行するよう提言し、要請いたします。

記

1. 泉鳥取高校に関しては、「質問書 追加その1」の通り、地域で一定数の進学者がいることや地理的条件を加味して、「分校」で存続できないのか検討すること。

以上